別記様式第３号（第６条関係）

会　議　記　録

次のとおり附属機関等の会議を開催したので報告します。

<table>
<tr><td>附属機関等名称</td><td colspan="3">近江八幡市廃棄物減量等推進審議会</td></tr>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="3">令和８年10月５日(月)　10：00－12：00</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td colspan="3">近江八幡市役所本庁舎　４階　委員会室４</td></tr>
<tr><td>出席者
※部会長◎
※副会長○</td><td colspan="3">出席者（敬称略）
審議会委員
○水原 詞治　○和田 有朗
・太田　孝　・中江 しげ子
・安田 隆雄　・平井 薫
事務局
生 活 環 境 課
課長　中嶋 武志　副主幹　小島 史子
主事　西中 克季　主事　北脇 翔也
主事　北村 拓己</td></tr>
<tr><td>次回開催予定</td><td colspan="3">未定</td></tr>
<tr><td>問い合わせ先</td><td colspan="3">所属名：市民部 生活環境課
担当者名：西中 克季
電話番号：0748-36-5509
メールアドレス：010602@city.omihachiman.lg.jp</td></tr>
<tr><td>会議記録</td><td>発言記録 ・ 要約</td><td>要約した理由</td><td>長時間の会議につき、内容を整理したため</td></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="3">◎令和９年度ごみ袋のメッセージ募集
市内の全小学校の４年生を対象に募集をかけ、可燃大が２６７件、可燃小が７７件、不燃が５０件集まった。一次選考は事務局と審議会委員長・副委員長で行い、事務局にて精査の上、可燃大を４５件、可燃小を３１件、不燃を１７件まで選考</td></tr>
</table>

	した。 審議会にて募集要項や選考のポイントを基に最終選考を行い、指定ごみ袋に掲載する作品を各々２点ずつ決定した。 なお、可燃大にて同率２位の作品が２点、可燃小にて同率１位の作品が３点、不燃にて同率２位の作品が２点の決選投票を実施し各カテゴリで指定ごみ袋掲載の２作品を決定した。（掲載作品は掲載スペースの兼ね合いで各種指定ごみ袋に２作品としているため） 掲載に選ばれた優秀賞６名には市長室で表彰し、賞状の授与と記念品として図書カード・指定ごみ袋のサンプルを渡す。指定ごみ袋のサンプルができ次第市役所新庁舎にて応募作品を展示する。具体的な場所については調整中。 また、指定ごみ袋の掲載には至らなかったものの奨励賞に選ばれた児童については、後日学校を通じて賞状と記念品を渡す。 〇委員からの主な意見 作品としては良いが、筆圧が薄い等で見にくい作品があった。来年度の応募要項に例えば使用いただく鉛筆の濃度などを加えて具体的に指示をしてはどうか。 ◎その他報告事項 ・来年度の指定ごみ袋環境啓発メッセージ応募事業について事務局より提案事項 →応募カテゴリの偏りや、よりメッセージ性の高い作品が選出される環境を整えるために以下を提案したい。

	① デザインの記入枠を一つに統一して、掲載を希望するごみ袋の種類を選べる☑欄を設ける。（ただし希望した種類外に掲載される場合があることを注意書きしておく） ② 今話題となっているごみの問題（例えばリチウムイオン電池）などをまとめたチラシを応募用紙と一緒に入れておく。現状燃えるごみ袋の応募数が圧倒的に多く、不燃ごみの応募数が少ない。児童にとって燃えないごみが身近でないことが考えられるので、考えていただくきっかけをこちらから与えたい。 〇委員からの主な意見 ・現在の応募用紙では、各指定ごみ袋の大きさに合わせて記入枠を設定していると思いますが、記入枠の大きさを統一することによって、不都合等は発生しないのか。 →現在は可燃小と不燃の記入枠の大きさ（縦８センチ×横１７センチ）は同じ、可燃大（縦８センチ×横１９．５センチ）のみが横幅が若干大きい。来年度より記入枠は縦８センチ×横１７センチに統一しようと思う。指定ごみ袋作成会社は作品の縮小は可能と聞いている。改めて確認は行う。 ・審議会での選考方法や委員の作業としてなにか変更はあるのか。 →委員の皆様にお願いすることはこれまでと変わりません。